

エレクトリック・ギター カリキュラム

	レベル	テーマ	内 容	課題曲・参考資料
	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな運指 ・指板上の知識 ・基本コード 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターを弾く上での基本である左手のスムーズな運指、右手のダウンアップピッキングを身につけます ・指板上での音の位置を覚えコードの仕組みを学習し、形だけでなく音を理解して弾けるようにしていく土台作ります。 *ドレミの場所を知らずに弾いている人、スムーズなフィンガリングが出来ずに弾いている人が多いと思います。ギターを弾く上での土台を作ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・Yesterday
	基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・チョーキング ・ビブラート ・1コードでのアドリブ ・8ビート、16ビートのカッティング 	<ul style="list-style-type: none"> ・エレキギターの必要不可欠なテクニック“チョーキング、ヴィブラート、ハンマリングオン、プリングオフ”の習得 ・1コードで形だけでなく、音を考えながらのアドリブ ・読譜、理論を踏まえての奏法 *チョーキング等を何となくやっているが、左手のフォームの基礎が出来ていない人、ペンタニックを形だけで覚えてアドリブしている人、このレベルから上のステップに行けない人の悩みを解決します。 譜面に慣れ、タブ譜に頼らなくて良くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・You Can Do It
	中級	<ul style="list-style-type: none"> ・コード進行に沿ったアドリブ ・テンションコード ・4ビートバックイング 	<ul style="list-style-type: none"> ・コード進行に沿ったアドリブをコードトーン・スケールなど音を考えながら弾く事を身につけます ・4ビート、8ビート、16ビートでのバックイングを練習することでリズム感を養います *コード進行によってアドリブしていくことは、ギターという楽器の特性上多くのギタリストにとって大きな壁になります。この壁を突破すれば難しいと言われているジャズが弾けるようになります 	<ul style="list-style-type: none"> ・Take The “A” Train
	中級	<ul style="list-style-type: none"> ・アドリブフレーズ ・バックイングのバリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・コード進行に沿ってただ単に音を拾うのではなく、各コードの効果的なフレーズを覚え、内容のあるアドリブを行います ・バックイングのバリエーションを増やします *アルファベットはA～Zまで知っているが英語が話せないのと同じように、各スケールを知っているがカッコよく弾けない人は効果的なフレーズを覚えていくことでアドリブの内容がレベルアップします 	<ul style="list-style-type: none"> ・Jazz Blues ・Blue Bossa
	上級	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なKeyに対応 ・特殊なスケール 	<ul style="list-style-type: none"> ・転調への対応力の強化 ・転調時のバックイングの際の確かなテンションの使用方法 *「C」など慣れているKeyでは色々な事が弾けるが、違うKeyになるとまったく弾けなくなってしまうものです。色々なKeyの曲を練習することによってこの問題を解決し、サウンドを豊かなものにしていきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・I'll Close My Eyes ・Misty
	上級	<ul style="list-style-type: none"> ・モード ・イントロ、エンディング 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑なスケールを学び、アドリブ内容のグレードアップすると同時にスケールアウトの学習 ・イントロ、エンディングの作り方、パターンの学習 *コードチェンジが激しかったり、反対に一つのコードが長く続いて何を弾いて良いのかわからない人、また、イントロ・エンディングが思いつかない人は多いと思います。この問題を解決していきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・So What ・Someday My Prince Will Come
	応用	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーモナイズ ・より複雑な進行の曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・メロディにコードを付ける方法 ・コードのアドリブソロ ・ギター一本での伴奏方法 *メロディを単音でしか弾けないというのはギターという楽器を演奏する上で非常にもったいない事です。メロディにコードを付けることを身に付ければギター一本での伴奏、ソロギターも出来るようになります 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wave ・When You Wish Upon A Star
	応用	<ul style="list-style-type: none"> ・初見での総合的な演奏力 ・レパートリーを広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・度数だけを見てKeyが変わってもバックイング、アドリブができるように指導 ・初見での総合的な演奏力の習得 *そんなに難しい曲でなければ初見でメロディ、バックイング、アドリブが出来るようになり、いきなりのセッションなどに対応できるようになります 	<ul style="list-style-type: none"> ・All The Things You Are ・Stella By Starlight

各クラスの学習期間は3ヶ月(10回レッスン)を基準としております。